

月刊しばうら

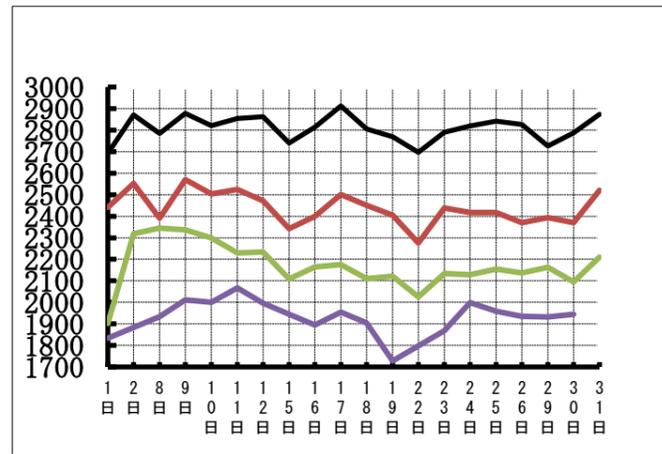
2017年6月号

大動物事業部

<5月の相場動向>

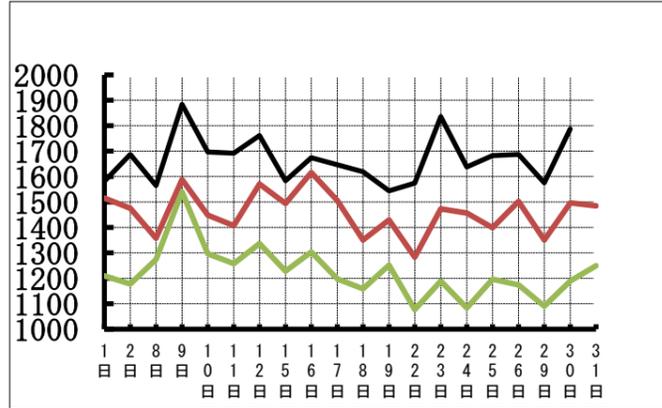
和牛去勢 A5 が前月比 46 円安の 2,821 円、同 A4 が 101 円安の 2,452 円、同 A3 が 73 円安の 2,182 円、同 A2 が 33 円安の 1,949 円といずれも前月を下回り交雑去勢は B4 が 62 円安の 1,689 円、同 B3 が 142 円安の 1,465 円、同 B2 が 128 円安の 1,238 円となり、末端需要の停滞をうけて月を通して軟調相場となり、特に交雑牛の B2・3 等級で大幅に下げた。

和牛去勢 日別相場表 (5月)



和牛去勢月平均	前年同月比	前月比
A5 2,821 円	(98.0%)	(98.4%)
A4 2,452 円	(91.3%)	(96.0%)
A3 2,182 円	(85.4%)	(96.8%)
A2 1,949 円	(80.1%)	(98.3%)

交雑去勢 日別相場表 (5月)



交雑去勢月平均	前年同月比	前月比
B4 1,689 円	(91.3%)	(96.5%)
B3 1,465 円	(85.7%)	(91.2%)
B2 1,238 円	(79.1%)	(90.6%)
乳牛去勢月平均	前年同月比	前月比
B3 上場なし	—	—
B2 964 円	(88.4%)	(93.3%)

<6月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した貿易統計による 4 月の牛肉輸入通関実績は前年比 1.6%減の 5 万 1,460t で、うちチルドは 9.6%増の 2 万 2,861 t、フローズンは 8.6%減の 2 万 8,599 t となった。

新年度とともに大型連休に向けて需要が高まることで例年輸入量が多く、今回も 5 万 t を超した。ただ、豪州産については現地の出荷頭数減などで前年を下回っている。

農畜産業振興機構の予測による 6 月の牛肉輸入数量は前年比 8.0%増の 4 万 2,500t。チルドは 2.1%減の 2 万 800t、フローズンは 20.1%増の 2 万 1,800t で、フローズンの増加については、前年の輸入量が少なかった反動となっている。

輸入牛肉通関量		4月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	10,468	11,773	88.9%
	米国	11,573	8,377	138.2%
	その他	820	717	114.4%
	合計	22,861	20,867	109.6%
フローズン	豪州	16,980	20,358	83.4%
	米国	9,451	8,453	111.4%
	その他	2,168	2,446	88.6%
	合計	28,599	31,257	91.4%

単位：t 出典：食肉速報

<6月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構による 6 月の出荷予測頭数は、前年同月比 1.5%減の 8 万 2,500 頭と前年を下回ると予測している。

6 月も前月の傾向が続き、品種別にみると和牛は、0.5%増の 3 万 4,700 頭、交雑種は 6.0%増の 1 万 8,300 頭、乳用種は 7.2%減の 2 万 8,100 頭としている。また、今回は 4 月～9 月のと畜頭数見込みを発表した。同期のと畜頭数は、和牛 (0.5%増)、交雑種 (4.0%増) の増加が見込まれる一方で乳用種 (6.0%減) の減少が見込まれることから、合計で前年同期比約 1%減としている。東京食肉市場の 6 月のと畜頭数は 7,000 頭を予定している。

<6月の牛枝肉相場見通し>

GW 以降の末端需要停滞が続くなか、6 月の牛枝肉相場は梅雨時期を控えさらに需要が伸び悩むことが予測され相場を上げる好材料も少なく和牛については出荷頭数も少なく弱もちあい推移か。交雑牛については頭数的に増加傾向にあり和牛同様に枝肉仕上りの良しあしで、価格差が大きく広がる相場が続き、またスソ物を中心に下振れも予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,750～2,850	B4	1,700～1,800
A4	2,400～2,500	B3	1,400～1,500
A3	2,100～2,200	B2	1,200～1,300
A2	1,850～1,950		
乳牛去勢			
B3	1,100～1,150		
B2	900～1,000		

小動物事業部

食肉流通統計によると、4 月の全国と畜頭数は 131 万 6,700 頭 (前年同月比 96.2%) となり前年より減少した。また、4 月分の豚肉通関実績は、総量で 7 万 6,898t (前年同月比 100.9%) と前年より上回った。うちチルドが 3 万 1,949t (同 103.2%) で内訳は、米国が 1 万 7,317t (同 95.4%)、カナダは 1 万 3,736t (同 116.7%)、メキシコが 892t (同 86.5%) となった。フローズンは 4 万 4,949t (同 99.4%) と前年を下回り、デンマークが 1 万 470t (同 99.8%)、メキシコが 6,036t (同 118.8%) 米国が 5,319t (同 112.0%)、カナダが 3,173t (同 95.5%) となった。

<5月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	72,300	484	471	709
2日	70,600	515	478	1130
6日	—	512	520	681
8日	65,600	—	—	—
9日	65,100	625	601	849
10日	63,800	595	576	618
11日	65,000	588	569	771

上旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 6 万 7,100 頭と前年を下回る頭数であった。当市場においても平均 790 頭と前年を下回る上場頭数であった。

今年は大連休前の慌ただしさがあまり感じられず、相場も通年のような荒れた展開は見られなかった。6 日の販売においては、購買者の参加は少なかったものの相場は維持された。連休後は補てん買いもあり上物加重で 113 円高と急伸。よくある急騰後の急落という現象も起きず GW 期間中は締まった相場展開となった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
12日	64,300	599	581	898
15日	64,300	602	568	796
16日	64,100	596	565	847
17日	61,700	555	526	603
18日	65,200	543	524	734
19日	62,600	537	511	827
22日	62,100	538	508	667

中旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 6 万 3,500 頭と前年を下回った。当市場も 1 日平均 770 頭と前年を下回った。

パーツの荷動きについて国産物においては、ロース・肩ロース・バラが鈍く値を下げた。ウデ・モモは堅調で値が上がった。輸入物はスソ物の荷動きは弱かったが、チルドでは肩ロース、フローズンではベリー系が良好であった。

以上の様に国産物と輸入物では部位ごとの売れ行きに明確な違いが表われる状態となり、相場は上物加重で 500 円前半まで緩やかに下がる展開となった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
23日	63,200	539	522	821
24日	60,500	543	535	655
25日	61,700	538	530	711
26日	62,400	564	547	766
29日	59,600	618	594	520
30日	61,700	652	624	728
31日	58,800	625	619	494

下旬の全国と畜頭数は、平均 6 万 1,100 頭と前年を下回った。当市場の上場頭数も平均 670 頭と前年を下回った。

全体的な荷動きは、ほぼ中旬と変わらない状況であったが、ギフト用に向けた補充手当が散見されてきた。また、気温の上昇と共にスペアリブ等の焼材の売れ行きが好調であっ

た。当市場の相場は月末に向けてテンポよく続伸する展開となり、上物平均価格は 582 円、中物平均価格は 567 円となった。

<6月の豚枝肉相場見通し>

農水省による 6 月の全国と畜頭数は、131 万 4,000 頭 (前年同月比 101.0%) と予測しており、1 日あたりの頭数は約 5 万 9,700 頭である。当市場の 6 月の集荷予定頭数は 1 万 6,500 頭となっており、1 日あたり約 750 頭の見込みである。

また、農畜産業振興機構による 6 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 7 万 4,000t (前年同月比 97.9%) の予測となっている。内訳はチルドが 3 万 1,700t (同 102.3%)、フローズンは 4 万 2,300t (同 94.8%) の予測である。

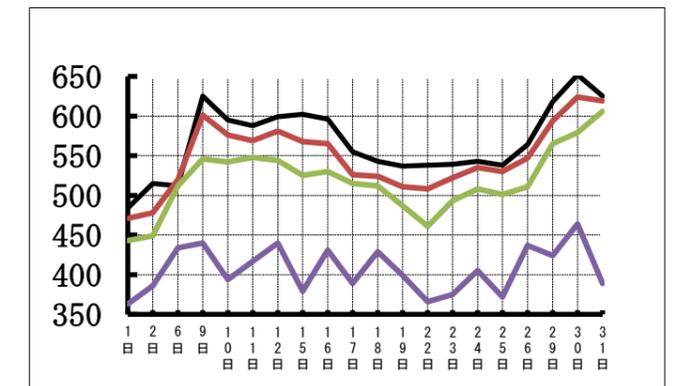
また 3 月における豚肉推定在庫量は、国産品が 1 万 5,850t (前年同月比 99.4%)、輸入品は 16 万 1,669t (同 105.4%) となり合計 17 万 7,519t (同 104.8%) となった。推定出荷量は 15 万 3,901t (前年比 102.5%) で前年を上回った。うち国産品は 8 万 866t (同 100.5%) 輸入品は 7 万 3,075t (同 104.9%) であった。国内生産量は 7 万 9,125t (同 99.8%) と前年を下回った。

全国頭数が徐々に減少してきている事と連動して相場が上がってきた。一方、代替品である鶏肉は全般的に堅調な値動きであり、輸入牛においては、中国が US ビーフを輸入解禁する方向で動いていることを受けて相場が高騰しはじめている。

いよいよ夏の高値相場を向かえるが、輸入在庫はさほど潤沢とはいえない。前年同月の相場はかなりの乱高下であったが、今年は状況的に穴が見つからなく、かなり締まった展開が予想される。

当市場の相場は上物平均価格で 630 円。中物平均価格は 610 円と予測する。

豚 日別相場表 (5月)



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いたします。

東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>